

## 第5回フランコフォニーを発見しよう！

日本におけるフランコフォニー推進会議主催  
日本フランス語教育学会共催

日時：2013年12月14日（土）13：30～16：30  
会場：明治学院大学白金キャンパス（東京）

### テーマ：フランコフォニーとジャーナリズム

1. ディスカッション：フランコフォニーとジャーナリズム
2. フランコフォニーに関するクイズ
3. 日本におけるフランコフォニーに関するルポルタージュ

\*\*\*\*\*

「第5回フランコフォニーを発見しよう！」開催にあたり、高校生、大学生の発表者を募集します。

#### 1. クイズ

「フランコフォニーを発見しよう」の第二部ではクイズを行います。そのクイズの製作と出題を募集します。

クイズによって楽しみながら思いがけないフランコフォニーの側面を発見する機会を提供することが目的です。たとえば、アフリカ大陸やカナダのフランス語圏などに関する問題など…具体的な例を挙げれば、フランスで「かくれんぼ」というのは Cache-cache といいます。ケベックでは La cachette といいます。

そのクイズの製作と出題に参加したい方は連絡してください。

発表形態：共同発表

フ日本語による発表、パワーポイント使用、10分程度。

応募方法：クイズのレジメをメールで送付。大学、高校名と氏名を明記。

## 2. 日本におけるフランコフォニーに関するルポルタージュ

ルポルタージュのテーマ：

日本におけるフランコフォニーの面白い側面を紹介するルポルタージュ。例えばフランス語圏の国々から来られて日本で生活している方々（レストランや商売をしている方、起業家、学生、教師など）の紹介など。自由な発想で日本のフランコフォニーを紹介してください。

またルポの準備のためフランス語圏の各国大使館に問い合わせるのもいいでしょう。表現形式は画像、音声、映像、文書いずれも自由です。

発表当日、パネルディスカッションに参加するジャーナリストたちの審査により優秀作品には賞が与えられます。

また最優秀作品は日本におけるフランコフォニー推進会議と日本フランス語教育学会のサイトに掲載されます。

なお、参加者の当日会場までの交通費の一部が補助されます。詳しくは下記応募先へメールで問い合わせてください。

発表形態：共同発表

フランス語と日本語による発表、パワーポイント使用、15分程度。

応募方法：ルポルタージュのレジメをメールで送付。大学、高校名と氏名を明記。

応募先：日本フランス語教育学会フランコフォニー委員会 ヴァンサン・ブランクール  
(メールは日本語可です)

[vbrancourt@hotmail.com](mailto:vbrancourt@hotmail.com)

応募の締め切り：9月20日

発表の依頼：10月10日までにメールにてご連絡します。

CONSEIL DE PROMOTION  
DE LA  
francophonie au Japon

